

副理事長就任のご挨拶

副理事長 和久井 工



第166回理事会の理事の互選により、当組合の副理事長の指名を受け、2期目とはいえ身が引き締まる思いであります。1期目の2年間、組合員の皆様には大変お世話になり、無事務めることが出来ました事に感謝を申し上げますと共に、これからの2年間も宜しくお願い致します。

さて、本年度4月から組合員皆さんには保険料が増額となりました事にご協力を頂き、感謝申し上げます。皆さんの温かなご理解で、介護保険料1,000円及び後期高齢者支援金800円増額となりましたが、苦情等も殆どなく実施をさせて頂き、平成27年度の支出が昨年並ですと平成26年度の3.2億円の単年度赤字は、解消されるものと予想しております。

また、平成27年度通常国会で医療保険制度改革の一環で保険者への医療補助率の削減が決定され、当組合の財政運営は今まで以上に厳しい事が懸念されます。その内容はまだ明確に示されませんが、数年に渡り医療補助金は段階的に削減され、平成32年には現在の半分以下と予想され、金額ベースで7億円を上回るものと思われまます。

そして、そんな状況に対応するため当組合事業及び組織運営事業の内容を見直し、当組合の魅力及び特色の広報活動等により組合員の加入促進を積極的に進めますが、それらを考慮しても不足が生じる時は皆さんに負担をお願いする事が予想されます。

ところで、厳しい話ばかりでしたが、当組合も設立56年目を迎え全国に二つしかない税理士国保の誇りと幾多の困難を乗り越えて来た経験を踏まえ、国保組合の同種同業の相扶共済の理念実現のため健康維持をベースとした税理士業務の側面的な貢献が出来ますよう、執行役員として精一杯に努力を傾注しますので宜しくお願い致します。

ご逝去を悼む

去る、3月23日、当組合で顧問をされていた市原靖先生が急逝されました。享年83歳でした。市原靖先生は関東信越税理士会の要職を歴任され、また、地元である茨城県においても多大な功績を残されました。

一方、当国保組合においても、平成5年7月の副理事長就任、平成9年7月から平成15年7月までの理事長就任。その間、保健センター建設と一大事業をなされました。その後の顧問就任と組合の運営に携わり、貴重なご意見やご指導を賜りました。

なお、告別式は土浦市で行われ、市原靖先生の生前のご活躍を反映し、先生のご遺徳を偲ぶため多数の先生方や顧問先の関係者等が参列し、最後のお別れをしました。

ここに組合員一同謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



合掌